



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

8月 は 会員増強・新クラブ推進月間です

第3322回例会 2024.7.31

会長要件 橋本八右衛門 会長



7月に開始してからガバナ
ー公式訪問、グランドサン
ピアでの例会、合同例会と何
となく普通の例会が落ち着い
てできない感じが続いており

ました。本日からお盆もありますが、また落
ち着いて例会をさせて頂く感じになります。

先週の土曜日は小菊荘の夏祭りを無事に開
催することができました。参加していただき
ました会員の皆様、ユートピアの会のスタッ
フ、鶴飼さんにはたいへんお世話になりました。
本当にありがとうございます。デー
リー東北にも掲載していただき、参加された
皆さまの笑顔を見られたということでひじょ
うに良かったと思っています。後ほど小井田
社会奉仕委員長より報告があります。

今月のロータリーの月のテーマは**母子の健
康月間**です。このテーマは世界的に発展途上
国における母子の生命の問題がメインとなっ
ており、今月のロータリーの友にはナイジェ
リアの出産の問題などがメイン記事として掲
載されています。医療的なことはもちろんの

こと、安全な出産や予防接種、健診など衛生
に対しての知識の習熟など、世界各国のロー
タリアンがさまざまな支援活動をされている
ということです。

ただ母子の健康の問題といいましても、各
国の状況で変わってきていると思います。そ
の地域の環境、経済の発展状況によっては要
素が違ってきているという感じがします。日
本において、そこら辺を置き換えてみますと、
ニュース報道などでわれわれの身近なところ
で出てくるワードはマタハラ、産後うつ、ワ
ンオベ育児、望まれない妊娠中絶、出産、ヤ
ングケアラーなどのことばも出てきますし、
DV、児童虐待ということにより複雑な難し
い問題が表面に出て来ていました。

小菊荘の夏祭りの事業をやりましたが、こ
ちらに対する事業はこのテーマにまさに関
わっている内容であったということです。

小菊荘は母子生活支援施設、もともとは母
子寮でしたが、世界大恐慌の社会不安の中、
出来上がりました。その後、それぞれ厚生省
の母子保護法などに定められてどんどん進ん
できています。第二次世界大戦後にもいろい
ろな母子寮、保育所を併設するような決議も

ありひじょうに増えていきました。戦後は家や家族を失った母子の支援がメインでしたが、高度成長期になって死別、離婚や生活のいろいろな問題が多様化してきて経済的な問題もピックアップされてどんどんと変わっていきました。現在では心理的課題、ドメスティックヴァイオレンスも出てきています。

小菊荘は昭和28年6月にできましたが、平成21年に社会福祉法人八戸市社会福祉事業団ということで自主経営、今の形になっています。母子支援施設の統計などを見ますと半分以上がDVを避けるための入所、経済的な問題の方が多く、現状もなかなかたいへんな思いをしながら入所されているような形です。

難しい問題でわれわれもできることもひじょうに少なく、皆さんを元気付けるような事業しかできないのかと思っています。これに係わるスタッフの皆さんの苦労やわれわれにも何かできることがないかと考えることがひじょうに大切なのかと思っています。夏祭りをやっている最中は仕事としてやっていますが、スタッフにも感謝しますし、何ができるかということをお忘れたくないということでこれからも継続を考えていければと思っています。

表彰：感謝状贈呈

ポールハリスフェロー 深澤 隆さん

幹事報告 小田山紀暢 幹事



○今年度会員名簿をレターボックスに入っています

○東奥日報社発行「花田ミキという生き方」をクラブに1冊いただきました。映画

「じょっぱり看護の人 花田ミキ」にロータリークラブで支援しましたので、そちらに対して本をいただきました。ご興味のある人は事務局まで

○令和6年度「八戸市を緑にする会」事業に係わる協賛について

○事務局お休みのお知らせ

8月5日(月)事務局お休みをいただきます。

委員会報告

親睦・会場委員会 丹波正美親睦会場委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 福島哲男さん

・奥様誕生祝 赤澤栄治さん
橋本八右衛門さん

八戸三社大祭、本日からはじまります。参加する方、命を大切に!!

佐々木泰宏さん 米山委員会よろしく願っています。

小井田和哉・道尻誠助 } ニコニコデー
夏川斗 齊さん

社会奉仕委員会：小菊荘夏祭り活動報告

小井田和哉委員長

7月27日に実施しました。

参加いただいた方は岡崎孝文さん、栗谷川敏彦さん、小田山紀暢さん、鶴飼寿栄さん、中村稔彦さん、浜谷英幸さん、橋本八右衛門会長、松本剛典さん、小井田和哉の会員9名と事務局の田名部さんの合計10名です。

会場は鶴飼さんが理事長をされているユートピアで夕方5時開始、8時半くらいまで行いました。当日は天気予報では1～2mmの小雨の予報でしたが、意外と強い雨が降っていて、ユートピアさんにテントを張っていただき、最初から最後まで雨の中、お肉や焼き鳥を焼いたり、子どもたちの食べる場所もテントの下で行いました。天気には恵まれませんでしたが、建物の中でゲームをやったり、庇の下で子どもたちがダンスを踊ったりとひじょうに楽しんでいただけたと思っています。

最後にひじょうに楽しかったのでぜひ来年もやってくださいというお願いをされました。当日は中村副幹事がいて、来年のことを決められるのはこの人しかいないので、子どもたちから中村さんがお願いされて終了したということです。来年度の会長、幹事さん、もし可能であれば小菊荘に対する支援ということで続けていただければと思っています。

令和6年度「八戸市を緑にする会」事業について

中村稔彦さん



テーブルに協賛のお願いということで白い袋を置いてあります。八戸市を緑にする会という会があります。緑豊かな郷土八戸を作るということで50年以上の歴史のある会です。八戸市と一緒にやっていて、事務局は八戸市公園緑地課が窓口になってメインで動いています。今日は緑化推進事業のために皆様に協賛のお願いをしたいと思っています。

緑にする会はさまざまな事業をやっています。ゴールデンウィーク前から始まる緑化まつり、八戸市緑化大会（春・秋の2回）、小中学生の緑と花の作文図画コンクール、各施設や学校の花壇コンクール、秋の菊まつりなどもやっています。それをやっているのが八戸市を緑にする会です。

この会の前会長は赤澤栄治さんが10年以上やっていましたが、それを引き継いでわたしが会長をやっています。理事は橋本八右衛門さん、デーリー東北松林さん。この会の会員には各ロータリークラブ、各ライオンズクラブも入っていて、八戸ロータリークラブも入っています。八戸市からも補助金をもらっていますが、ほぼぎりぎりの状態でやっていますので、今後も活発に活動ができますように、気持ちでけっこうですので協賛できる方はしていただければと思っています。何卒ご協力をよろしくお願いします。

委員会活動計画Ⅱ

国際奉仕委員会

深澤 隆委員長



副委員長は小林幹夫姉妹友好クラブ委員長、委員は寺下一之ロータリー財団委員長、佐々木泰宏米山委員長です。

姉妹クラブの基隆ロータリークラブとの交流、親睦を高めるために日程も確定しますので、魅力あるプログラムで多くの方々に基隆ロータリークラブへの訪問

に参加を成功させたいと考えています。それ以外にもコロナ明けということもありますので、他の姉妹クラブ、友好クラブとの連携を高めるために、いろいろな魅力ある例会と交流を深めていきたいと思っています。

さらに前年度はだいぶ新会員の方も増えたこともありますので、ロータリー財団委員会と米山委員会にはそれぞれの委員会がどういう役割をもって、どんなことに貢献できるかを含め、新会員を含め皆さま方に興味をもって協力をいただくために、具体的には寄付をいただくためにいろいろな案内や活動についての紹介をいただくように、会長とも相談しながら進めていきたいと思っています。

ロータリー財団委員会

寺下一之委員長



副委員長は中村稔彦さん、委員は地代所恭久さん、石橋敏文さんです。

財団委員会は3つの項目を中心に今年度は活動をしていきたいと思っています。

①財団の寄付：目標額は年次基金寄付は1人150ドル、ポリオプラス基金寄付は1人30ドルと合わせて180ドルです。先ほど事務局に聞きましたら今日現在で1ドル=161円とのこと。明日に変わるということですので、明日以降レートが変わってからでもけっこうですので、皆様をお願いしたいと思います。

②グローバル補助金事業、地区補助金事業については当クラブ、委員会の皆様の意向を踏まえて対応していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

③ロータリー財団月間を活用して、ロータリー財団の意義、仕組み、活動内容のそれぞれを皆さまに理解いただき、財団活動への取り組みを図っていききたいと思います。

以上3つのことを中心に活動して参ります。皆さまをお願いをする立場ですので、1年間よろしくお願い申し上げます。

米山委員会

佐々木泰宏委員長

副委員長は山村和芳さん、委員は村井達さ



ん、工藤義隆さんです。

米山奨学金の意義を伝えて、できるだけ多くの米山の寄付金を集めるべく1年間奮闘努力したいと思っています。その方針の一環として、10月は米山月間ですので、米山の意義や使われ方などを広く会員の方々、特に新会員の皆さんに広報したいと思っています。またいろいろな機会を利用して、米山奨学生をクラブに迎えて交流、親睦を深めながら、米山の実を感じていただけたらと思っています。

上部組織の国際奉仕委員会のメンバーとIDMなどを通じて、目標達成のためのアイデアなどを相談していけたらと思っています。ぜひ会員の皆さん、1口10,000円の寄付を年度内によりしくお願いしたいと思います。

青少年奉仕委員会 **正部家光彦委員長**
(代読 小田山紀暢幹事)



副委員長は渡部充ローターアクト委員長、委員は加藤範尚インターアクト委員長です。青少年奉仕委員会はローターアクト委員会とインターアクト委員会の2つの委員会から成り立ちます。

若者の心に生涯にわたる奉仕の精神の種を撒き、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導きたいと考えています。

八戸工業大学第二高等学校インターアクトクラブへの積極的な支援と現在会員1名のローターアクトクラブの活発な活動の再開に向けての方策を練りながら、若い世代の育成に努めたいと思います。それと同時にわたしたち会員が新しい視点や感性を持つ若者たちから多くのことを学ぶ機会としたいと思います。

ローターアクト委員会 **渡部 充委員長**



副委員長は渡辺さん、委員は地代所久恭さん、鴨澤諭さんです。

現在、八戸ローターアクトクラブは2020年度を最後に実

質会員が0名となっていますので、まずは第一に新会員を集い、再スタートしたいという目標を掲げて目指して参りたいと思っています。

しかしながら会員をただ闇雲に集めるということではなく、地域をよくする奉仕活動、異業種異世代間でさまざまな交流ができる、親睦を深められるというふうに思えるような、会員が親睦を深められるような、とにかく新しく、楽しく魅力を感じられるようなクラブ作りを考えてやって参りたいと思います。また魅力を発信して、広げていきたいと考えています。

新会員勧誘策としては、現在クラブ会員、各企業に勤務されている若手社員の方や八戸近隣の大学、専科学校の学生等も対象とした勧誘の推進も考えています。現時点はメンバーがいないわけですが、わたしの会社に20代、30代の若手社員がいますので、構想段階ですが、青少年奉仕委員会と連携しながらいろいろと会合を考えています。まずはキックオフという形でスタートしていければと思っています。

インターアクト委員会 **加藤範尚委員長**



副委員長は夏川戸齊さん、委員は夏堀礼二さん、山本さんです。

当委員会は八戸工業大学第二高等学校インターアクトクラブ、担当教諭と交流を図りながら従来の取り組みに捉われず、インターアクトクラブがさらに活性化するように支援して参ります。活動状況については例会のときに随時ご報告をします。

また昨日は地区インターアクト委員会より本年度の地区インターアクトクラブ年次大会のご案内が届いています。日程は2025年5月24日(土)です。会場は弘前市、担当は弘前ロータリークラブ、弘前学院聖愛高校インターアクトクラブです。開催が近づきましたら状況も含めてご報告をさせていただきます。

姉妹友好クラブ委員会 小林幹夫委員長



副委員長は高谷勝義さん、委員は村上壽治さん、赤澤栄治さんです。

ここ半年で新しい会員の方がけっこう入ってこられたので、この委員会は何をやっているかの概要を説明します。

八戸ロータリークラブには姉妹クラブがあり、台湾にある基隆ロータリークラブです。八戸ロータリークラブと血を分けたクラブです。歴史は1973年（昭和48年）からずっと姉妹クラブとして仲良く、行ったり来たりの友好な関係を築いています。去年ちょうど50年経った形です。きっかけは石橋信雄さんのお父さんの故石橋昭雄さんが八戸ロータリーにいた時代に基隆と関係がありました。ちょうどその時に姉妹クラブとして3年毎に更新し、それをずっと続けています。

友好クラブはお友達クラブで、八戸クラブには2クラブあります。いずれも秋田県（2540地区）です。まずは能代ロータリークラブで、1982年からの友好クラブで約40年の歴史があります。もう一つは横手ロータリークラブで、2017年と比較的若いお付き合いです。能代は元々八戸と経済がつながっていた時代があり、その時に結ばれたと聞いています。横手ロータリークラブは横手クラブの周年行事の一つとして横手クラブが青森県内のどこかと友好クラブを結びたいというのがあり、その願いが八戸クラブに来た。それで八戸クラブとしては仲良くお友だちとしてやっていきたいと思いますということでやっています。

コロナ前まではけっこう行ったり来たりして仲良くしていましたが、コロナの時にピタリと交流がなくなり、コロナが明けた去年から動き始めました。姉妹クラブの基隆クラブは去年八戸クラブから築館ガバナーが出たということもあり、11月に八戸にいらっしゃいました。そのお返しもあり、昨年11月にわれわれが十数人の団体で基隆を訪れました。

今年は前提条件として、今、八本八右衛門

さんが会長ですが、次年度の石橋信雄さんが会長のときにわが八戸クラブが70周年を迎えます。去年は基隆が70周年で、来年八戸が70周年を迎えるということは、八戸の70周年に基隆の方々がお祝いに来てくれるはずです。そのためにどうすればいいかという、われわれが今年行って、来年70周年をやりまさらぜひ八戸に来てくださいという形でわんさか訪問しなければならないということで計画を組んでいます。その計画の内容は後ほどA4版2枚のものがお手元にあると思いますので、説明します。

友好クラブはどちらかというとゴルフ等々を通じて友好を深めよう。去年も横手クラブの方とはゴルフをしました。ですので、友好クラブは今現在考えていることは来年4月、5月に合同ゴルフコンペをしようかと思っています。実際にはこの6月に横手クラブさんとゴルフコンペをしています。横手や能代の方たちはどちらかというと八戸で飲みたい。八戸に来て飲みたいというのが第一目的なので、ゴルフの前の日に八戸で夜の宴会をして、翌日にゴルフをしましょうということで話が進んでいます。この辺は日程を詰めていきたいと思っています。

姉妹クラブについて、メールボックスにJTBと書かれたA4版の紙をご覧ください。来年八戸ロータリークラブは70周年ですので、ぜひ来年来てくださいという願いをするために、今年11月14日(木)～3泊4日の予定で基隆を訪問したいと思っています。

去年は三沢空港⇒羽田空港⇒台北のコースでした。乗り継ぎをしながら台北に行く方法をとりましたが、今年は仙台発着を考えています。11月14日(木)新幹線で仙台、仙台空港発17:20⇒20:30台北着。入国手続後、基隆まで車で約1時間。ホテル着は22:00～22:30。われわれはそこで寝たいのですが、たぶん基隆の方たちはホテルか空港で待ち伏せをしていると考えられ、すごく歓迎されます。たぶんわたしの予想では夜23:00～宴会が始まるのではと思っています。

翌日11月15日(金)は基隆を中心とした市内観

光。11月16日(土)は今年の4月に台湾花蓮で地震がありましたので、そこに行けたら行きたいと画策しています。JTB側はまだ花蓮に行くツアーは組んでいないとの答えがありました。直接基隆クラブにどういう状況かを聞いたところ、基隆から東側の縁を下がったところに花蓮という都市があります。台湾の島の西側は新幹線が通っていて、南北の移動は比較的容易ですが、東縁は在来線しか走っていないし、道路も便利などころではないところに地震があったので、今日現在は鉄道も分断されて、道路も分断されているが所々は行けるが、途中で分断されている。

ただ11月までにはだいたいそれが直る計画だと聞いているので、ここはちょっと流動的です。行けるなら2時間ちょっとかけて、実際に花蓮の被災地を伺い、今回は花蓮に50万円を寄付したので、そのロータリアンともお会いしながら、実際にご飯を食べ、観光できるところはじゃっかん観光する。われわれができることはそこを訪問してお金を落としてくる、ことを考えています。それが無理であれば台中観光かフリータイムなど流動的ですが、被災した花蓮に行くことを考えています。

最終日は帰ってくるだけ。初日と最終日は帰ってくるだけですが、中2日はそういった形で考えています。値段は20~24、5万円です。去年基隆に行った時も25、6万円かかっていたので、こんな感じ。円安に加えて運賃も上がっています。今のところ15人は確保しなければならぬ状況です。わたしと目が合った方は参加の方をお願いします。ここ半年から1年で入られた会員の方も行ってみたいと思います。この間の合同例会は八戸市内、八戸周辺の集まりだったのですが、やはり海外の方とも接することができるのがロータリークラブに入ったメリット、醍醐味の一つでもあるかと思しますので、ぜひご検討いただければと思います。

実際の申し込みはお盆明けくらいから始めて、9月中には締切を設ける形を考えています。現時点での予定はこういうところを考えていること、8月下旬から9月中旬にかけて募集をかけますので、ご家族に相談する方は相談しつつ、自分で決められる方は自分で決めつつということでもよろしくをお願いします。

点鐘：

出席報告					出席委員会			
第3321回例会（7月25日）			第3319回例会（7月3日）					
出席率		100.0%	出席率		100.0%	修正出席率	100.0%	
総会員数		66名	出席数		66名	メイクアップした人数		0名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数		0名	
66名	0名	0名	66名	0名				

出席報告					出席委員会			
第3322回例会（7月31日）			第3320回例会（7月10日）					
出席率		65.1%	出席率		67.2%	修正出席率	67.2%	
総会員数		66名	出席数		41名	メイクアップした人数		0名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数		21名	
63名	3名	22名	64名	2名				